



家族のきずな Family

友人知人の家族をリレーでつなぎます

吉本聡さん 幸恵さん 安寿ちゃん (北黒田)

北黒田に住む吉本さんファミリー。普段は離れて暮らしていますが、離れていてもいつも笑顔が絶えない仲良し家族です。

聡さんが県外に単身赴任しているため、月に数日しか一緒に過ごせない幸恵さんと安寿ちゃん。幸恵さんは、「テレビ電話は毎日欠かさない」と話し、安寿ちゃんが寂しくならないよう家族で過ごす時間を大切にしています。そんな幸恵さんのことを聡さんは、「自分がいない間、子育ても家事もよくやってくれている」とたたえます。一方、「とにかく優しい。料理も掃除も何でもできる」と聡さんのことをたたえる幸恵さん。家族で一緒に過ごす時間は少ないですが、お互いに信頼して助け合っています。

そんな聡さんと幸恵さんの1番の宝物は、一人娘の安寿ちゃん。テレビを見ながら聡さんとダンスを踊ったり、幸恵さんに絵本を読んでもらったりすることが大好きです。「バイバイ」と言いながら、笑顔で手を振って周りの人たちのことを笑顔に。いつも笑顔で、優しい子に育ってほしいという聡さんの願いどおり、スクスク育っています。

今後は、家族で旅行に行きたいと話す吉本さんファミリー。これからも、家族で楽しい思い出をつくっていきます。

今回は、幸恵さんのお友達、伊藤優里さん＝上高柳＝ファミリーをご紹介します。

◎ PROFILE

よしもと・あきら 自営業。広島カーブの大ファン。幸恵さんの広島カーブ好きにも影響を与えた。安寿ちゃんと試合を観戦するのが夢。広島県出身。よしもと・さちえ パート。中学校時代は吹奏楽部でトロンボーンを演奏。リフレッシュ法は、友達とランチに行っておしゃべりすること。北黒田出身。よしもと・あんじゅ 日課のママとのお散歩が大好きで、元気いっぱいな女の子。おままことがマイブーム。1歳。

Boys&Girls, Be

Ambitious!

頑張る子どもを紹介します

岡田中学校2年生の大野美空さん。ソフトボールで愛媛県選抜に選ばれ、3月に千葉県で開催される第19回都道府県対抗全日本中学生ソフトボール大会に出場します。

「県の代表としてプレッシャーを感じるけど、周りのみんなが喜んでくれたのでうれしかった」とほほえむ美空さん。愛媛ソフトボールクラブに所属し、ショートで活躍しています。土日は早朝から夕方まで、所属するチームで練習を行い、平日は、自宅で弟たちとの自主練習を欠かしません。「ミスをして下を向かず、切り替えて集中するようにしている」と話し、プレー中は、チームのメンバーに落ち込んでいる姿を見せないように心掛けています。

「練習に付き合ってくれるお父さん、早朝でもお弁当を作ってくれるお母さん、悔しい時は慰めてくれるチームのメンバーなどたくさんの人に支えてもらっている」と感謝の気持ちを話す美空さん。「全国大会では、レギュラーになって勝利に貢献したい」と意気込み、全国の舞台に挑みます。

岡田中2年・昌農内 おおの みそら 大野 美空 さん

「周りのみんなへの感謝を胸に、全国大会へ」



今回は私たちが、松前町の魅力についてお話しします。



伊予高等学校2年(写真左から)
たなか き 田中彩姫 さん、しらいしあやの 白石彩乃 さん

松前の魅力 伝え隊

町民が松前町の魅力を取材します

松前町の魅力といえど？と聞かれると、多くの人が「エミフル」と答えるのではないのでしょうか。私たちも探Q活動を行う前は、そう思っていました。しかし、活動を通して松前町について知るうちに、エミフルが全てではないと実感しました。そこで、気付いた松前町の魅力を紹介しします。

まずは「三栄堂菓子舗」。季節に合わせて、すてきな和菓子を作るお店です。見た目はもちろん美しく、味もとてもおいしいので、もっと早く知りたかったと思わせてくれるお店です。このように和菓子という日本の伝統的なお菓子を売っているお店があるというのは、外国人観光客に対してもアピールポイントになると感じました。次に「えびすだこ」。主に、たこ焼きを販売しているお店です。お店を営んでいる方は、会うだけで明るい気持ちになれるような方で、インタビューの時も私たちに優しく丁寧に答えてくださいました。自転車で巡ってみると、地域密着のおいしいお店、おしゃれなお店、こだわ

近所の
キラキラ
まさき人



このコーナーは、広報担当者ではなく町民の皆さんがカメラを持って、松前町の魅力を取材します。取材してくれる人を募集中です。詳しくは、総務課広報広聴係(☎ 985-4132)に連絡を。

Reporter

りのお店が多く、自転車が似合う町だなと感じました。私たちは、本年度、英語で観光マップを作りました。多くの人に、素晴らしい松前町をアピールできるよう、見つけた魅力を発信していきたいと思っています。



▼編集後記

Proud! Japan

愛媛県松前町の魅力を伝えよう

「広報さん、写真撮って!」たくさん声を掛けていただいた二十歳の記念式。参加者の皆さんには初めてお会いするのに、「大きくなったね」と保護者目線にいる自分に気付きました。保護者の皆さん、今まで子育てお疲れ様でした。「555」という数字、皆さんは何の数字が分かりますか? 広報まさきは、今月で555号を迎えました。二十歳を迎えた皆さん、夢に向かって「ゴーゴー」です。二十歳おめでとう! (西尾) 二十歳の節目を迎えられた皆さん、おめでとうございます。今やりたいこと、今しかできないことに、どんどんチャレンジしてくださいね。たとえ壁にぶつかったって、きつと松前町で過ごした日々があなたの背中を押してくれるはずです。早くも1カ月が過ぎた2023年。年男の私にとっては節目の年です。二十歳の皆さんに負けないように、新しいことにチャレンジして充実した1年にしたいと思います。(加藤)